

授業科目名	動物外科看護学Ⅱ	科目コード	261033		
開講クラス	動物看護師学科	コース	動物看護師コース	学 年	2年
担当教員	野崎佳織（非常勤講師）				
	実務経験教員（ <input checked="" type="checkbox"/> 有・無） 実務経験内容 愛玩動物看護師資格 動物病院にて約10年間動物の診療補助、看護に従事 現場での経験をもとに、事例を出しながら授業を行う				
開講時期	前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	30時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須・選択・選択必須		単 位 数	1単位	
使用テキスト1	書 名	愛玩動物看護師の教科書 第4巻 臨床動物看護学			
	著 者	緑書房編集部			
	出版社	株式会社 緑書房			
使用テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義・演習・実習・実験・その他（ ）				
<p><授業の目的・目標> エマージェンシー時のバイタルサインを理解し、動物の異変に気付けるようになる。心肺停止と心肺蘇生の流れを学習し、実際にぬいぐるみで実践する。また、主な救急疾患についても学ぶ。</p>					
<p><授業の概要・授業方針> まずはエマージェンシー時のバイタルサインを理解し、動物の異変に気付けるようになる。その後、心肺停止と心肺蘇生の流れを学習し、実際にぬいぐるみで実践する。また、主な救急疾患についても学ぶ。</p>					
<p><成績基準・評価基準> 前期・後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が80～100点を優、70～79点を良、60～69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、追試においては60～100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。通年の評価は、前期と後期の本試験の点数の平均を算出し、その平均点が80～100点を優、70～79点を良、60～69点を可とする。</p>					
<p><使用問題集・注意事項></p>					

<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>

外科動物看護実習Ⅱ

授業科目名		動物外科看護学Ⅱ
回	授 業 内 容	備 考
1	学習目標、エマージェンシーとは	
2・3	エマージェンシー時のバイタルサイン 意識レベル	
4・5	エマージェンシー時のバイタルサイン 呼吸	
6・7	エマージェンシー時のバイタルサイン 循環①	
8・9	エマージェンシー時のバイタルサイン 循環②	
10・11	エマージェンシー時のバイタルサイン 体温	
12・13	生体モニターの見方	
14・15	心肺停止と心肺蘇生法	
16・17	心肺蘇生のABC 前期まとめ	
18・19	心肺蘇生 模型での実践	
20・21	救急疾患の基礎知識① 外傷	
22・23	救急疾患の基礎知識② ショック	
24・25	救急疾患の基礎知識③ 神経	
26・27	救急疾患の基礎知識④ 中毒	
28	救急疾患の基礎知識⑤ 熱中症	
29	救急疾患の基礎知識⑦ 心血管	
30	まとめ	